

2017年度 第72回国民体育大会セーリング競技会北海道予選会

スナイプ級強化レース

共同主催 : 北海道セーリング連盟、北海道体育協会
運 営 : 小樽セーリング協会
大会期日 : 平成29年7月8日（土）～ 7月9日（日）
開催地 : 小樽市祝津町 祝津ヨットハーバー沖

帆走指示書（ヨット）

1. 適用規則

- 1.1 「セーリング競技規則 2017-2020」（以下：RRS）に定義された規則を適用する。
- 1.2 [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。
- 1.3 [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則60.1(a)を変更している。
- 1.4 SCIRA規則の「国内および国際選手権大会の運営規定」は適用しない
- 1.5 付則Pを適用する。

2. 広告

主催団体による広告の要求はない

3. 競技者への通告

競技者への通告は陸上本部に設置された公式掲示板に掲示する

4. 帆走指示書の変更

帆走指示書に変更がある場合には、それが発効する当日の最初のクラスの予告信号時刻の60分前までに掲示する。但しレース日程の変更はそれが発効する前日の19時までに掲示する

5. 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、陸上本部の信号柱に掲示する
- 5.2 [DP] [NP]音響1声とともに掲揚される「D旗」は、艇はこの信号が発せられるまで出艇してはならないこと、および「予告信号」はD旗掲揚後30分以降に発することを意味する。「D旗」が「クラス旗」の上に掲揚された場合、そのクラスのみ適用する。これはRRSレース信号を変更している
- 5.3 最初のクラスの予告信号予定時刻の「30分前」までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間の定めなく延期されている
- 5.4 「回答旗」が陸上で掲揚された場合、レース信号「回答旗」中の1分を「30分以降」と置き換える。これはRRSレース信号を変更している

6. レース日程及びクラス旗

6.1 当日の最初のレース予定予告信号の時刻及びクラス旗は次の通り

クラス	7月8日(土)	7月9日(日)	クラス旗
成年男子470級	10:25	09:25	470旗
成年男子レーザー級	10:30	09:30	レーザー旗
成年女子レーザーラジアル級			レーザーラジアル旗
少年男女レーザーラジアル級			
スナイブ級	10:35	09:35	スナイブ旗

6.2 引き続き 1 つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を掲揚する最低 5分以前に音響 1 声とともにオレンジ色旗を掲揚する。

6.3 引き続き行われる各クラスのレースのスタート順は上記の順番に依らないことがある。

6.4 最終日の予告信号は13:00 より後には発しない。

6.5 本大会は各クラス 6 レースを予定する。1 日に行う最大レース数は4 レースとする。

7. 大会の成立

本大会は各クラス1レースの完了をもって成立する。

8. レース海面

添付図 1 に示す海面に設定する。風向等により設定海面は変更される。

9. コース

9.1 添付図 2 に回航すべきマークの順序及びマークの通過すべき側を示すコースを示す

9.2 第1マークへのおおよそのコンパス方位は予告信号以前もしくは同時に信号艇に掲示する

9.3 コースは当該クラスの予告信号掲揚時にクラス旗の下部に、コース番号を表示する数字旗を配置し信号艇に掲揚する。これはRRS 26およびRRS レース信号を変更している

10. マーク

マーク 1, 2, 3, 4 は数字で 1, 2, 3, 4 と表示された「オレンジ色の三角錐ブイ」とし、帆走指示書12によるレグの変更の新しいマークは「黄色の円筒型ブイ」と「赤色の三角錐ブイ」とする

11. スタート

11.1 スタートラインはスターボードの端にある信号艇のオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端の運営艇のポールとの間とする

11.2 [DP] [NP] 予告信号がまだ発せられていないクラスの艇は、スタート・エリアからおおよそ 50m以上離れ、すでに予告信号が発せられている全ての艇を避けなければならない

11.3 スタート信号の4分以内にスタートしない艇は「DNS」と記録される。これはRRS A4とA5 を変更している

12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は新しいマークを設置し(またはフィニッシュラインを移動し)、実行できればすぐに元のマークを撤去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。レグの長さの変更は表示しない。これはRRS 33 (b) を変更している。

13. フィニッシュ

フィニッシュラインはレース委員会艇の青色旗を掲げたポールと、ブイのコース側の間とする。レースが終了したときは号砲1声を発する

14. タイム・リミットとターゲット・タイム

14.1 タイム・リミットとターゲット・タイムは次のとおりとする。時間通りとならなくても救済要求の根拠とはならない。これはRRS62・1(a)を変更している。

クラス	タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	ターゲット・タイム
470 級	70 分	25 分	40 分
レーザー・ レーザーラジアル級	75 分	25 分	45 分
スナイプ級	75 分	25 分	45 分

14.2 最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後15分以内にフィニッシュしない艇は、審問無しに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。これはRRS35、A4、A5を変更している。

15. 抗議と救済要求

15.1 抗議及び救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内に提出されなければならない。抗議書は陸上本部にある「所定用紙」に、抗議締切時刻である当日の当該クラス最終艇のフィニッシュ時刻の「60分後」またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」の信号を発した時刻の「60分後」のいずれか遅い時刻までに陸上本部に提出しなければならない。プロテスト委員会の裁量によりこの時刻は延長することがある

15.2 抗議に関する報告は、審問の時刻及び場所、抗議の当事者または証人として指名されたものを競技者に知らせるために、抗議締切時刻後「30分以内」に通告する

15.3 指示1.5に基づきRRS42違反に対するペナルティーを課された、またはプロテスト委員会により失格とされた艇のリストは公式掲示板に掲示される

15.4 レース委員会、またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS61.1(b)に基づき艇に伝えるために掲示する

15.5 審問の再開要求は次の締切時間内に提出されなければならない。

①要求する当事者が最終日以外に判決を通告された場合には翌日の抗議締切時間内

②要求する当事者が最終日に判決を通告された場合には、通告後30分以内

16. 得点

16.1 艇の得点は、完了したレースが5レース未満の場合は全レースの合計得点とし、5レース以上完了した場合はその艇の最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

これはRRS付則A2を変更している

16.2 レーザーラジアル級の国体参加クラス(成年女子・少年男子・少年女子)の得点は、競技種目で区別せず同一クラスとしてレース得点を計算する

17. 申告[DP][NP]

17.1 艇はD旗掲揚の有無に関わらず、各日程の最初のクラスのスタート予告時刻の90分前から40分前までに、陸上本部に出艇申告をしなければならない。帰着後に再出艇する場合も出艇申告をしなければならない

17.2 帰着申告は、レース終了の60分後を締切時刻とするが、原則として帰着後速やかにしなければならない。レース委員会の裁量によりこの時間を延長することがある。再出艇後に、帰着した場合も帰着申告をしなければならない

17.3 レースに出走しない艇は、陸上本部に参加しないことを申告しなければならない(DNC申告)

17.4 リタイヤしようとする艇、および引き続き行われるレースに出走しない艇は速やかにレース海面を離れ、近くのレース委員会艇にその旨を伝えなければならない。艇長は帰着後陸上本部にリタイヤ申告書またはDNC申告をしなければならない

17.5 [SP]指示17.1に違反した艇は、一連の最初のレースを、指示17.2に違反した場合、一連の最後のレースをそれぞれ審問なしでPTPと記録され、確定順位に対して+3点のペナルティーが課せられる。但し当該種目参加艇数+1を上回らない。

これはRRS63.1および付則A4、A5、A11を変更している

18. 安全規定[DP][NP]

18.1 レース委員会は危険な状態にあると判断した艇に対しリタイヤの勧告および強制救助を行うことが出来る。この項は艇による救済要求の根拠にはならない。これはRRS62.1(a)を変更している

18.2 成年男子470級を除き、艇は自らの安全のためにマストトップに浮力体を取り付けることが出来る。

19. 装備の交換と計測のチェック[DP][NP]

19.1 損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。

19.2 艇はクラス規則に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。検査の指示を受けた艇は直ちに指定されたエリアに向かわなければならない。

20. 運営艇の標識

レース委員会艇 白色旗

プロテスト委員会艇 赤色旗

救助艇 緑色旗

21. 艇体・セールに関する特別許可[DP]

各クラスとも、クラス規則の艇体番号並びにセール番号の同一性に関する条項は適用しない。但し同一セール番号を同時に使用してはならない。また470級においてメインセールとスピナーカーのセール番号の同一性は問わないこととする。

22. ごみの処分[DP]

ごみは海中投棄してはならない。

23. 無線通信[DP]

艇は、レース中に無線の送受信を行ってはならない。この制限は携帯電話およびGPSにも適用する。

24. 表彰

レース公示記載による

25. 責任の否認

本大会の競技者は自分自身の責任で参加する。R R S 4 参照。主催団体は本大会前後、大会中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

26. 帆走指示書に関する質問

26.1 帆走指示書に関する質問は平成29年7月3日(月)までに文書で受け付ける。

26.2 質問の送り先は次の通りとし質問についての回答は大会会場の公式掲示板に掲示する。

<送付先>

北海道セーリング連盟 理事 田口真一

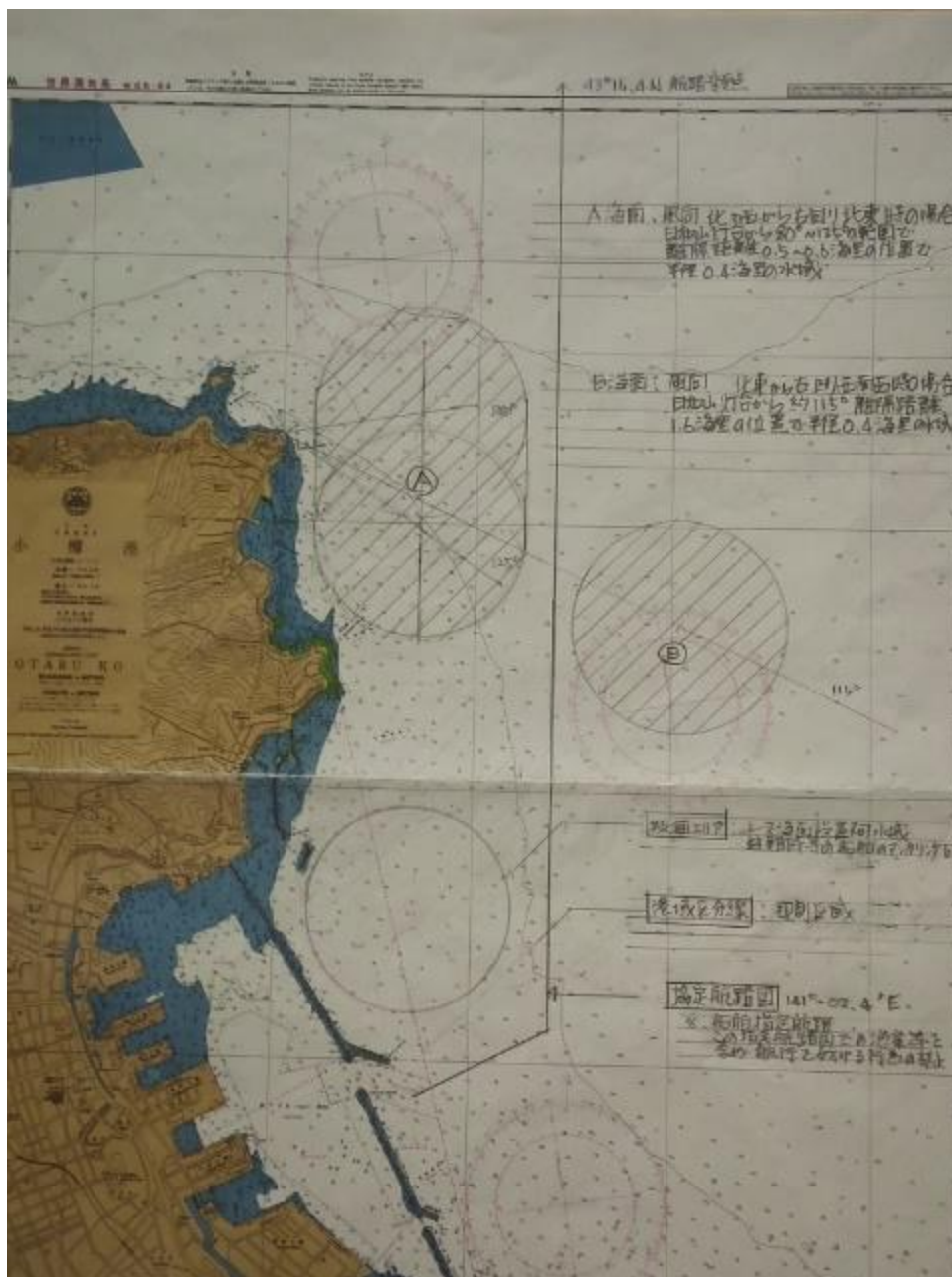
〒062-0905 札幌市豊平区5条11丁目1-1 北海道立総合体育センター内

Fax : 011-833-2218

Email : yac647@gmail.com

26.3 帆走指示書26.1以外での帆走指示書に関する質問は受け付けない

添付図1 レース海面 小樽 祝津沖

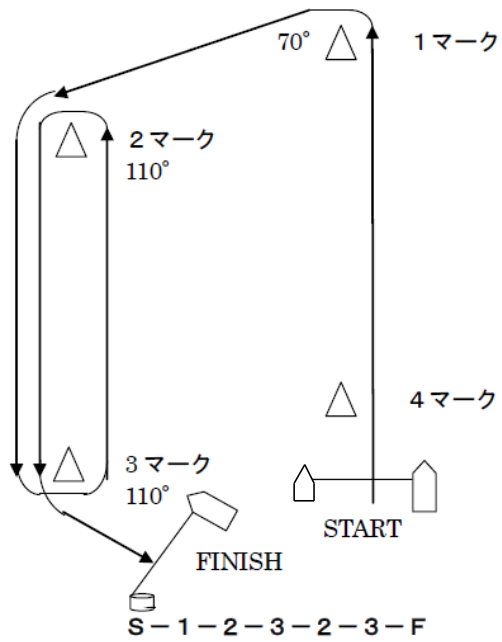


主要座標	緯度1度=緯度60分=60海里 緯度1分=1海里 (NM) = 1.852KM	
祝津沖水域	: 緯度43° -13.0 N~43° -14.9 N	東経141° -01.2 E~141° -03.7 E
海面 A	: 緯度43° -13.6 N~43° -14.8 N	東経141° -01.2 E~141° -02.3 E
同中心	: 緯度43° -14.0 N~43° -14.4 N	東経141° -01.7 E
海面 B	: 緯度43° -13.2 N~43° -14.0 N	東経141° -02.5 E~141° -03.7 E
同中心	: 緯度43° -13.6 N	東経141° -03.0 E
協定航路		東経141° -02.4 E
ハーバー入口	: 緯度43° -14.1 N	東経141° -00.9 E

添付図2 コース図

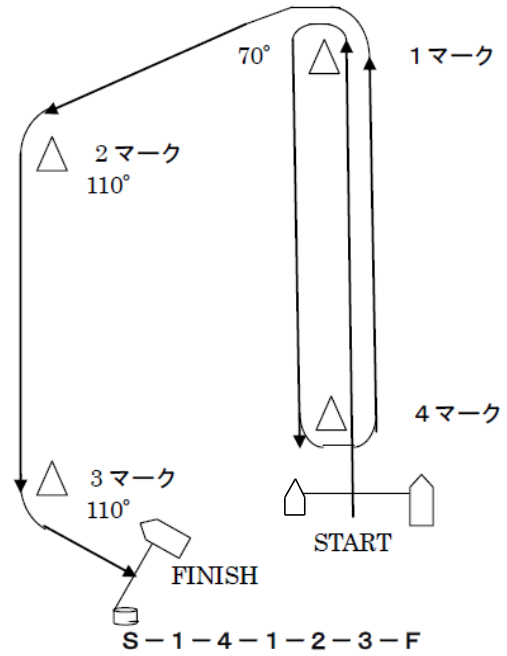
コース1

トラペゾイド アウターループ



コース2

トラペゾイド インナーループ



コース3

上下コース

